



施設から社会へと巣立っていく皆さんへ

八楽児童寮 児童指導員 川真由子

施設を巣立つ時、どんな気持ちを抱いていますか？これまで親しかった人たちや生活場所から離れる寂しさ、新しい生活への期待、一人暮らしへの不安……。抱く感情は人それぞれだと思いますが、「施設でのルールに縛られずに誰からもウザイこと言われず、やっと自由を手にする！」「やっと解放された！」なんて思う人も多いのではないのでしょうか？

社会に出る皆さんには、存分に自分の時間を楽しんで、自分で得たお金を自分の為に使って、自分の人生を思う存分、自由に満喫して欲しいと心から思っています。

しかし、自由には責任という重たいものも付いてきます。「そんなの自分で何とかできるよ、大丈夫。」って思いますよね。

でも、社会に出ると、毎日同じ時間に同じ場所へ行って気を遣いながら仕事して、自分のご飯を自分で用意して、洗濯もして、掃除もして、という生活を毎日毎日繰り返すのは想像以上にとても大変なことです。

それを当たり前のように、もしくは我慢しながらも毎日こなせるあなたは、逆に言えば、とても素晴らしく本当にがんばり屋だと思います。

「まあいっか」「嫌だからやめた」と仕事に行かなければたちまち自分の生活がストップして、楽しい自由な生活どころではなくなってしまいます。

施設にいた頃は、誰かと話したい時に生活スペースの中のすぐ近くに話を聴いてくれる誰かがいたけれども、一人暮らしの一人きりの空間は、想像以上に寂しいものだと、巣立っていった子たちが言っているのをよく聞きます。

一人でいいし、誰でもいいので、自分が安心して話せる大人の人を見つけて頼ってくださいね。

「社会に出たんだから、もう大人。」なんて固い考えは持たずに、まだまだ、大人に頼って欲しいと思っています。

就職した仕事だって、上手くいかないことがあるのは当たり前。

仕事の難しさや嫌さよりも職場での人付き合いの方が大変な時もあるかもしれません。気持ちが前を向けずに、結果として仕事を辞めることになる時だってあるでしょう。でも「1回失敗したからもうダメ」なんてことはありません。あなた一人が悪いわけでもありません。

ここには皆さんのことを理解したり応援したり助けてくれる大人達があります。1回仕事を辞めると、「働けるところがないから」「たくさんお金が稼げるから」「楽だから」なんて理由で夜のお仕事に気持ちが向くかも知れません。でもそんな時には一度、立ち止まって **ROOKIES** を思い出して欲しいと思います。夜のお仕事以外にも働けて稼げる場所があります。仕事の種類だってたくさんあります。住む場所も用意してくれます。あなたの見方になってくれる大人達があります。

社会に巣立っていく皆さんのことを考えると心配であれこれ書きました。

施設を出てからの長い道のりを、あなたがあなたらしく、自分の人生を自分のものにして、たくさん自由を手に入れて、たくさん楽しんで欲しいと思っています。

皆さんのこれからの生活を応援しています。